



せんよう 千葉

あけましておめでとう
ございます



333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、
ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、
ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかる。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげもう。

ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公徳心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確認すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまで利益や成功を求めるなこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 眞の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私材を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

せんよう

No2

1997年～1998年
ライオンズクラブ国際協会
333-C 地区地区ニュース

誌名の“せんよう”は333-C地区の千葉をやさしく表現した万葉の昔、せんよう「千葉」と命名させていただきました。



CONTENTS 目次

333-C 地区

ライオンズ憲章

あけましておめでとうございます	
今年もまごころ奉仕を	2
国際会長をお迎えして	
誇り高き過去・明るい未来	5
東南アジアフォーラム	4
一般市民対象の健康講座	7
ライオネスフォーラム開催	8
第2回 キャビネット会議開催	9
視力保護と老化 秋葉琢磨L	10
より一層の献血活動の推進を！	12
'97クラブ活動	13
'97Y E レポート 体験記	14
'97YEL10NS YOU THE XCHANGE思い出のアルバム	22
'97クラブの奉仕活動	26
お知らせコーナー	36
333-C 地区地図	37

せんよう
千葉

表紙
「日の出」
銚子犬吠埼

題字は地区カバナー
L飯塚 一郎

あけましておめでとうございます 英知を結集し前進しよう

333-C 地区ガバナー L. 飯塚一郎



あけましておめでとうございます。

ライオンズの皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりよろこびを申しあげます。地区役員をはじめ会長並びに会員の皆様には、ライオニズムの高揚のため平素一方ならぬご理解とご協力を賜っており、誠にありがとうございます。厚くお礼申しあげます。昨年7月、成田キャビネット発足以来、第一回キャビネット会議に始まり、青少年、Y.E.、レオ合同サマーキャンプ、とりわけ公式訪問におきましては、各ライオンズの皆様に心暖まる御声援を賜わり、貴重なご提言等いただき素晴らしい経験を得ることが出来、これからキャビネット運営に大変寄与するものと存じます。更に11月19日のパターソン国際会長の公式訪問にあたりましても、地区内ライオンズの皆様のご協力によりまして、750名を超えるメンバーにご参集いただき盛大な公式訪問を執り行うことができました。お礼申しあげます。

私共をとりまく環境は、バブル崩壊の後遺症と消費税引き上げ、また北海道拓銀、山一証券の破たん等危機的状況にあり、暗く長いトンネルに入ったまま、前途に曙光を見いだすことができない状態にあります。この様な情況下、ライオンズクラブ会員と致しましても、結束を強化し、ライオンズ活動の活性化につとめ英知を結集して前進してゆきたいと存じます。今年もなお一層の発展がはかれますよう、ご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

終りになりましたが、メンバー各位のご繁栄とご健勝を心からお祈りし年頭のごあいさつといたします。

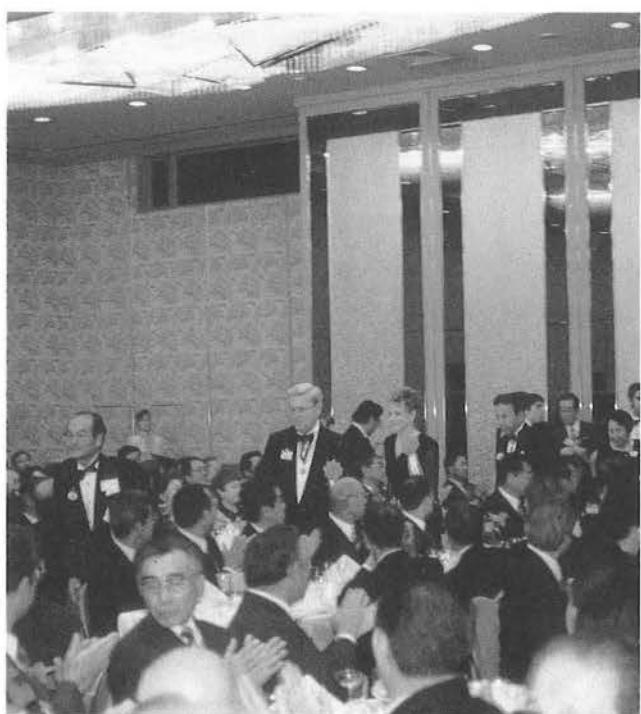


国際会長夫妻を囲んで

1997-8年度、330、331、332、333、334複合地区合同の
Lパターソン国際会長公式訪問並びに歓迎晩餐会が11
月19日成田ビューホテルで、東は北海道、西は東海地
区からかけつけたライオン750名の出席のもとに盛大
に開催された。

会は午後5時から公式訪問、開会の言葉を331複合
地区協議会議長、繁富文承し、歓迎の挨拶を333複合
ガバナー協議会議長飯塚一郎から、来賓として地元
小川国彦成田市長の挨拶のあと、国際会長夫妻、来賓
の紹介があった。その後国際会長は「あなた方皆さん
全員が、誇り高い過去、明るい未来を背負っている、
21世紀にむけて更に自信をもって奉仕活動にチャレン
ジしよう」と熱烈な挨拶があった。

晩餐会は午後6時から始まった。成田LC関係者の
舞踊や琴などの演奏で会の雰囲気は大いに盛り上
がり、会場のあちこちで旧交を温める懇談、会長を囲
んでの記念写真は引っぱりだこ。こうして時間を過ぎる
間を惜しんでの晩餐会を楽しんだ。午後8時、全員の
拍手で会長夫妻を見送りながら公式訪問並びに晩餐会
の幕を閉じた。



皆んなの拍手で見送り

第36回東洋東南アジア

ライオンズフォーラム開催

—アジア地区から6,500人の式典—

ライオンズ国際協会、第36回東洋東南アジアフォーラムは、11月28~30日の3日間、フィリピンP I C C 国際会議センターで日本をはじめとする東南アジア9カ国、米国、ドイツなどからの参加者6458名のもとに盛大に開催された。センター会議場での各種の決議や晩餐会などの会議は友好のもとに開催され、最終日には「1998年は横浜で会おう」との確認をし三日間の祭典を終えた。

参加者及び決議は以下の通りです。

参加者数

MD300	(中華民国)	1,306名
MD301	(フィリピン)	1,014名
Dist. 303	(香港、マカオ)	53名
MD308	(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)	49名
MD354-355	(韓国)	763名
MD310	(タイ)	161名
MD330-337	(日本)(333-C地区、43名)	2,983名
Dist. 204	(グアム、北マリアナ諸島サイパンなど)	110名
Non Dist.	(モンゴル)	2名
その他	(米国、ドイツ、ベルギー、フランスなど)	17名
	合計	6,458名

第36回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム決議 (1997年11月27~30日 フィリピン・マニラ)

1. 第37回OSEALフォーラムは1998年11月26~29日、日本の横浜市で開催される。
2. 第37回OSEALフォーラムの第1回ステアリング委員会は、1998年2月18~19日に日本の横浜市で開催される。
3. 第96回OSEALフォーラムは、MD330 L. MOTOAKI ONO 大野元昭(日本330-C地区・川口クラブ)
- MD354 L. IL-YUN KIM 金一潤(韓国354-A地区・ソウル大成クラブ)
- MD300 L. MAW-HSIUNG WANG 王茂雄(中華民国300-C2地区・大甲クラブ)
- 上記3名を1998~2000年度国際理事候補者として推薦する。
4. 第36回OSEALフォーラムは、歓迎の祝辞をいただいたERNESTO MACEDA上院議長及びCHARITO PLAZA下院議員に対し心より感謝する。



会場前で歓迎の踊り



東南アジアフォーラムに参加して

333複合地区ガバナー協議会事務局
管理委員長 L. 飯塚 茂男

11月27日、成田発9時15分、心は赤道直下の夕日に映えるマニラ湾を夢みながら、JALにて一路マニラ空港へ。到着後市内観光へ、アメリカ軍記念墓地等をめぐり、マニラ湾を一望できるマニラ市中央に位置した、マニラ、ミッドタウンホテルに宿泊しました。

28日いよいよ東南アジアフォーラムの開会式、会場はPICCフィリピン国際会議センターで15時から開催されました。

会議は国際協会第一副会長（次期国際会長）タイ国出身ハバナンダ、Lの21世紀にむけての力強い挨拶があった。そして国際理事、元国際会長などの紹介があり、開会式は成功裡に終了しました。当日8時よりミッドタウンホテルで333複合地区ガバナーを囲む懇親会が134名の参加のもとに行われ、友情の交歓がもられたことに感激しました。

29日は一息ついたところで、コレヒドール島の観光の計画があり、私は海拔700米タガイタイへ2時間余のドライブを楽しみました。当地はマニラ市内より涼しく大変風光明媚な景観でした。

16時30分からは日本より選出の国際理事候補を激ますカクテルパーティが。19時からは国際会長懇親会が、330複合地区～334複合地区2,400名出席による盛大な集いがありました。

30日は閉会式です。閉会式では第37回東洋東南アジアフォーラムが横浜で開催されること。そしてより多くの参加者で再び友情を高めようと確認され三日間の大会が終わりました。

なお、今回世界各国（11カ国）6458名で日本からは2983名、333-C地区は43名の参加者でした。



副会長夫妻を囲んで



飯塚ガバナーよりバナーの贈呈

1998年は横浜で開催 Welcome to YOKOHAMA



成田市民全世帯にチラシ3万枚配布、この「チラシ」もPRに一役

講演会

入場券
講演会

中高年の健康について

平成9年12月6日(土)

午後1時

会場：成田市役所6F会議室

講 師

歌人で糖尿病の権威

江畠耕作 医学博士



主 催：ライオンズクラブ国際協会
333-C地区PR情報委員会

後 援：成田市・成田市教育委員会

問合せ：キャビネット事務局 043-243-2528

初の試み大成功！

ライオンズクラブ333-C地区、PR情報委員会主催

一般市民対象の健康講座

—成田市役所に200名参加—

パターソン国際会長も提唱する、"ライオンズも外に向てのPRを"の一環として、一般市民が最も関心のある健康管理についての講演会が開催されました。

12月6日（土）午後1時より成田市役所6階大会議室で、ライオンズ関係者、一般市民約200名の出席のもとに行われました。全ての準備も万端整い、あとはお客様の参加を待つばかりの役員関係者。多少の不安な気持で開会時を祈る気持ちで待ちました。

会は司会の6R、PR情報委員の原義明Lではじまり、開会挨拶を地区PR情報委員長塚田雅二L、333-C地区ガバナー飯塚一郎Lの代表挨拶に続き、来賓の小川国彦成田市長の歓迎の挨拶のあと、講演に入った。講演は江畠耕作先生で「中高年の健康管理について」の演題で、「成人病にならないためには、文明病にからないように、適正な食事をとること、ストレスにからないこと、歩くことなど健康な生活習慣をするように」と時折ユーモアを混えて、親切にわかりやすい講演であった。参加皆さんは開会から最後まで、誰一人席を立つもなく熱心に真剣に先生の話に耳を傾けていました。

初めてのこの企画は200名の参加者で大変有意義な講演会で成功裡のうちに終了しました。

ナリの健康について

催 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区PR情報委員会



講演する江畠耕作L



主催関係者と参加者の皆さん

333複合地区

ライオネスフォーラム開催

10月25日、26日パレダ・ムール木更津

333複合地区ライオネスフォーラムが、去る10月25日（土）、26日（日）に333複合地区ライオネス委員長、杉浦明Lの地元、木更津で開催されました。25日の前夜祭には、会場、パレダ・ムール木更津にて、333複合地区ガバナー協議会議長（地区ガバナー）飯塚一郎Lをはじめ、副議長・幹事（A地区ガバナー）糸井久夫L、副議長・会計（B地区ガバナー）大津三郎L、前議長（前B地区ガバナー）富塚浩Lを囲んで出席者220名、華々しくそしてなごやかに行われました。

翌日26日にはライオネスフォーラムを会場、オークラアカデミアパークホテル（有明の間）に於いて、出席者300名、午前9時より、熱気あふれるなか、司会をLS小菅あけみ（柏LS C）と6名のパネラーにより、パネルディスカッションに入りました。テーマは「ライオネスクラブの活性化を図るには」について、パネラーも会場のLSも、真剣に熱のこもった話し合いが続きました。同じ目的を持った女性が集い、考え、話し合う事がいかに重要な事かと痛感した2日間でした。

地区LS委員長 L. 関 重雄

パネルディスカッション

		司 会 LS小菅あけみ（柏LS C）
基調講話	333複合ライオネス委員	L. 関 重雄
パネラー	A地区館林ライオネスクラブ 燕 // B地区足利西 // 下館巴 // C地区船橋中央 // 流山 //	LS大野妃左江 LS北沢武子 LS原田千代子 LS中沢容子 LS阿部恵美子 LS水野愛子



複合議長 飯塚一郎Lご挨拶

パネルディスカッション「大任を終えて!!」パネリストの皆さん

ライオンズ国際協会333-C地区

第2回キャビネット会議開催

—ガバナー提出議題を承認—

1997.11.15 (土)

千葉県労働福祉センター

97年度ライオンズ国際協会333-C地区第2回キャビネット会議が11月15日（土）千葉県労働者福祉センターで、L.飯塚ガバナーはじめキャビネット構成員（委員を除く）75名の出席のもとに開催された。

会はL.飯塚一郎ガバナーの挨拶、前ガバナーL.浮谷俊行、L.林静誠名誉顧問会議議長らの挨拶のあと、幹事報告をL.飯塚信一幹事から、会計報告をL.林智樹会計から報告があった。引き続きガバナー提出議案4件、委員長提出議案2件の説明があり午前の部を終了した。

午後からは各RCからリジョン運営状況各委員長から地区委員会の活動状況の報告、続いて第4回年次大会の実施要領について説明があったあと、午前中に提案された議決事項について審議に入り、全ての案件が提案通りに承認され終了した。

議決事項は下記の通りです。

ガバナー提出議案

第1号議案 次年度地区ガバナー候補推薦の件

333-C地区の次年度ガバナー候補者として、地区前10リジョンより推薦書の提出がありました、副地区ガバナーL.笠本 瞭（市川東LC所属）を推薦致したく、提案します。

〔決議〕提案のとおり承認可決

第2号議案 次年度副地区ガバナー候補者推薦の件

333-C地区の次年度副地区ガバナー候補者として、地区8リジョンより推薦書の提出がありました。
L.岡野正義（千葉LC所属）を推薦致したく、提案します。

（保留、12月15日の締切をもって決定する）

第3号議案 年次大会議事規則承認の件

333-C地区年次大会議事規則、予算案、第44回年次大会議事運営構成表、運営構成表、決議委員（フォーラム）担当委員を別紙のとおり提案します。

〔決議〕提案のとおり承認可決

第4号議案 地区大会アワード、地区ガバナーズアワード等賞旗簡素化したい。

〔決議〕提案のとおり承認可決



—LCのために—

視力保護と老化

地区、視聴力保護・言語障害・
盲人福祉・糖尿病教育委員長

6 R · 2 Z 佐倉中央LC

L. 秋葉琢磨

人は誰しも25才を過ぎると筋力、骨の老化に入る。その説明として25才以上のオリンピック選手は少ない。

50才を過ぎると女性は閉経、更年期障害、骨粗しょう症、生活習慣病の悪化がだんだんと進行していく。“かかりつけ医者”がほしい。

50才を過ぎると男性も肥満、前立腺肥大、定年退職近くで、性欲・食欲等全て老化現象が著しくなる。“がん”年令となり、視力の低下、白内障が現れる。

視力・免疫力の低下・老化

視力の低下、目の疲れ、VDT作業による頭痛、腰痛も著しくなる。楽しみながら仕事する事も考える必要がある。眼鏡も必要になってくる。眼科・内科相談医が必要。

失明に至る目の病気（LCはActivityとして力を入れている）

私は眼科医ではない医師である。
視力障害は全ての人が眼科医の診療をうける必要がある。しかし人体は小さな疾患でも体の全てが関係している。若い時より自己の体調をCheckしておく必要がある。

LCにおける視力障害のMain Activity（主たるアクト）について記してみる。視力1st（視力第一ということ）

前頁より糖尿病性網膜症と緑内障が最近Eye Health（目の健康）なる言葉でLions Programに提唱され（LEHP）Lions Eye Health Programの名のもとに、早期発見・早期治療のキャンペーンが続けられ、LC独特的のポスターが作られている。

失明はヘレンケラー女史により、糖尿病はアレテウス（ローマ時代、トルコのカッパドキアB.C81-138）により、世の中に主張されてきた。Eye Healthについて記す。

1) 糖尿病網膜症

日本に糖尿病患者は600万人+αが居り、その内治療を受けている人は、200万人にすぎない。糖尿病患者の内240万人が糖尿病網膜症を併発している。10年以上治療を受けないと50%が失明する。

糖尿病と診断され、数年後約半数の人は目に障害を来す。そして糖尿病網膜症の約1/4は失明する。血糖値が高い状態でいると、血管がもろくなり、すぐに破れて出血を起こしやすい。従って毛細血管が多く集まっている腎臓にも同じ障害が起り、網膜症と同時に、腎機能も低下して来ている。

網膜症の初期は、網膜の毛細血管から1ヶ所、2ヶ所と小さな出血を起こし、或いは毛細血管瘤ができる、眼底写真をとってみると、点々と赤い所が見えます。それが出血部分で単純型とよびます。

ライオンズクラブノメイン・アクティビティ 視力ファースト

・角膜疾患-----角膜移植-----献血：アイバンク

(円錐角膜、メロン状角膜ジストロフィー)

・糖尿病性網膜症

ライオンズ・アイ・ヘルス・プログラム

(L. E. H. P.)

・緑内障

・白内障

・ビタミンA欠乏による角膜軟化症

・細菌性・ウィルス性角膜疾患

・網膜色素変性症

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

日本網膜色素変性症協会

JRPS (Japanese Retinitis Pigmentosa Society)

(千葉LC 椎名益男 表図より)

増殖型になると大出血となり、血液が眼球内に充満し、突然視界が真っ暗になります。

薬を使って出血をおさえると光は戻りますが、出血した後には纖維や新生血管が増殖し、また、はん痕が残るために視力が失われていきます。これを繰り返していると、網膜剥離を起こして失明する。

治療は、増殖型にはレーザーによる光凝固療法を行い、更に重症例には硝子体手術が行われる。

糖尿病の管理にあたっては全身管理が必要、特に眼底の定期検査も受ける必要がある。

また、薬によるコントロールに頼らず、運動と食物により血糖値を下げるのも重要である。

日本の中途失明者は、年間約16,000人。第1位 糖尿病網膜症(17.8%)、第2位 緑内障(12.8%)。この二つの眼病で年間約5,000人が失明している、そして依然増加傾向にある。

2) 緑内障

40才過ぎから徐々にまたは突然に眼圧が上がり視力が低下する。

100人1人という高頻度でみられる。目の中を流れている水分の巡りが悪くなつて目の内圧が上がり、視神経が障害され、視野が狭くなり、視力が落ちてくる病気、先天的な眼球の異常によるものや、ぶどう膜炎など他の眼球の病気に引き続いて起こることもありますが、殆どは原発性緑内障と言って、原因不明です。

この中には急激に起こる型と、知らない間に徐々に進行していく慢性型とありますが、よくみられるのは慢性型のほうで、男女とも40才以上に多く起ります。多少見えにくいため、疲れ易くなつたのを、老眼の始まりと思って、放置しておく人がいますが、目の内圧が高まつた状態が続くと、視神経がいたみますから、早期受診が大切。

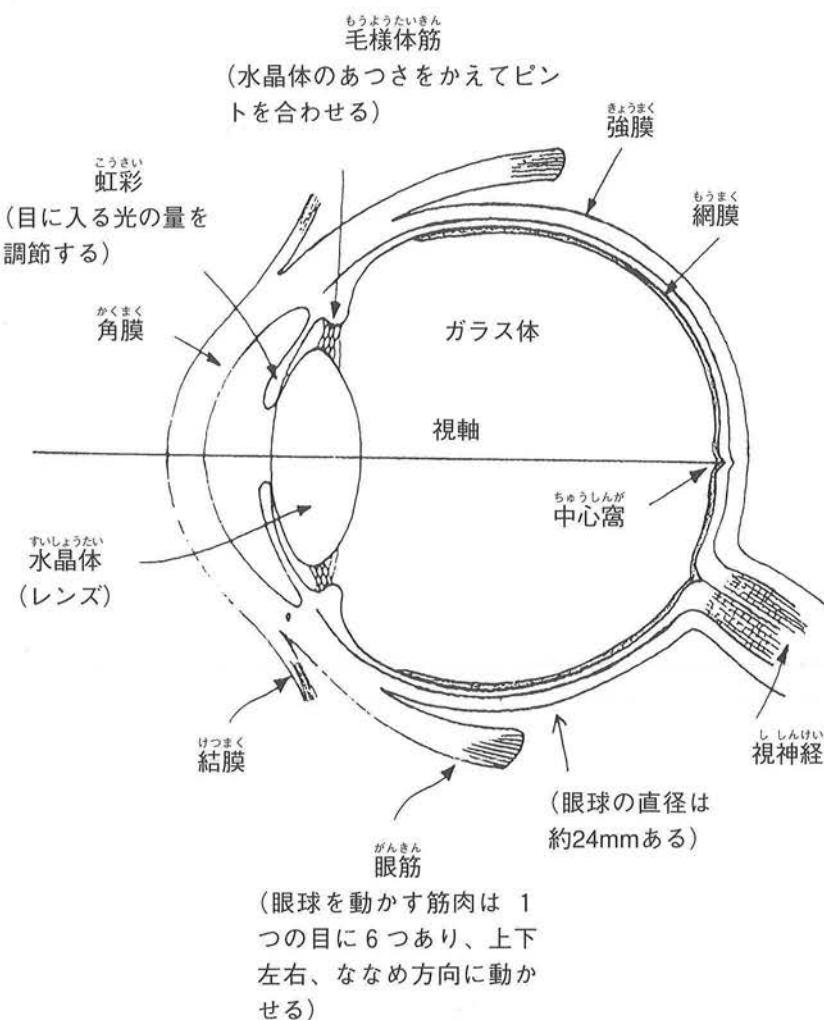
また眼圧が急激に上がる型には、一刻も早く眼科で処置してもらいます。自己診断ではうっておくと手遅れになってしまうケースがあります。

12.8%は失明に至りますが、早期治療を受ければ大丈夫かも知れません。かかりつけ医に御相談下さい。

白内障

痛みはないが瞳(水晶体)が白く濁り、僅かの光でもまぶしく感じる。先天的のもの、外傷・放射線障害・糖尿病、その他の眼病よりくる水晶体の栄養障害も原因となる。一番多いのは老化によるもの、老人性白内障は目の新陳代謝が衰えてくるため起こる老化現象、どうしても不便を感じたら手術すればよい。今日では日帰り可能な手術です。視界がバット開け新しい人生が始まります。眼科医に相談して下さい。その他眼疾患は多数あり、眼科医はどこも満員の状態で忙しい。“運動・栄養・休養”に気配り、体力・気力の充実に心掛けCommunicationを大切にLC活動をしてほしい。

眼球のつくりかた



第6回ライオンズクラブ333-C地区、献血推進研究会

より一層の献血活動の推進を!

積極的な意見交換で確認

10月9日 ホテルスプリングス幕張

今年で6回目を迎えるライオンズクラブ333-C地区的献血推進研究会が平成9年10月9日(木)ホテルスプリングス幕張において開催され、76クラブから127名の参加がありました。

はじめに副地区ガバナーの笹本瞭より挨拶があり、ついで千葉県赤十字血液センター船橋 茂所長より、ライオンズクラブの方々に対して、日頃の血液事業のご理解とご協力に感謝の意が述べられました。引き続き議題に入り、血液センターより平成8年度の血液事業の現状と平成9年度の血液事業、輸血用血液の使用状況と血液製剤の安定性について説明がなされ、その後献血の啓発ビデオが上映され前半の部が終わりました。

後半は、地区献血・献血推進委員長の井上務により日赤本社で開催された全国ライオンズクラブ献血推進研究会の報告があり、これまで以上、血液の安全性の確保、登録制度と問診の強化、並びに400ml献血・成分献血の推進と、活動状況について述べされました。次いで二つのライオンズクラブより事例発表があり、初めは市原東ライオンズクラブの伊藤L

より「若年層に対する献血の啓発について」と題して、安全性の高い血液確保のために高校生への献血推進をはかり拡大させていくことが主要なテーマであり、これによって県内の献血目標が達成できるのではないかというものであり、一方浦安ライオンズクラブの谷尾Lからは「市民へのアプローチ」と題して、東西線浦安駅と浦安献血ルームで積極的な活動を展開しており、若い学生や留学生たちの協力が得られているとのことでした。

この後、千葉県赤十字血液センター船橋所長から「新しく発見された感染症の現状」についての講演に統いて、各ライオンズクラブから質問、要望事項があり積極的な意見が交わされ、より一層の献血基盤の確立を目指すことを確認し合いながら盛況な雰囲気の中で閉会となりました。



報告する井上務献血推進委員長

副地区ガバナー	笹本	瞭	L
幹 事	飯塚	信一	L
会 計	林	智樹	L
献血推進委員長	井上	務	L



6 R諮問委員会で決める ポーランド大洪水被害の救援見舞

— 6 R全体に呼びかけ125万円を —

この度、6 Rのアクトとして、この夏ポーランド南部地方の大洪水に見舞われた方々のために10,000ドルの救援資金を集め、10月12日ポーランドライオンズクラブに贈った。以下はその経過である。

部地方。
大洪水に見舞われたポーランド南

決定。
諮問委員会で6 R全体で支援を



領。
ガバナー公式訪問時にRCより受



救援見舞金を贈る菊地哲士



ポーランド水害支援報告

333-C地区、YE副委員長

L. 菊 地 哲

1997年7月26日、私はYEで知り合ったポーランドのカドヴィイェLから「現在ポーランド南部地方は大洪水の水害を受けている。この冬に向けて大変、少しでも良いから救援をお願いする」という要旨の一通の手紙を受け取りました。

そこで私は、富里、成田L. Cの皆さんに何でも良いから援護をとお願いしたところ思いがけず、8月の6 R合同の諮問委員会の席上「6 R全体のアクトとして義援金を集めよう」と決定し、8月から9月にかけ10,000ドル（約125万円）が集まり、10月12日のガバナー公式訪問の時、高須賀R. Cからお預かりし同日夜ポーランドに向け出発しました。

ポーランドのカトビチエライオンズクラブを訪問したところ思いがけず121地区ガバナーミルスキーさん

の歓迎を受け、ポーランドのライオンズクラブとしても私たちの支援に対して大いに感謝していることがわかりました。

さっそく被災地であるゴジャルゴビッチ村へ案内していただきました。建物はその形をとどめているものの、中に入ると床は腐り、壁や天井は崩れしており、そのうえ冬が来ると氷点下20度から30度となり建物に浸み込んだ水分が凍ってしまい破壊されてしまうことです。冬を迎える仮設の建物はできあがっておりました。私たちの義援金は村役場のそばに用意した村の土地に建てる予定の5棟の本格住宅の建設費の一部にあてることです。その建物の礎石に「この建物は日本のライオンズクラブ333C 6 Rのお陰でたてられた」と記した文章を入れる式典が行われ、私が最後のレンガを積みセメントで封入する役をやらせていただきました。

以上のように無事に義援金をカトビチエライオンズクラブへ届けることができました。

ハンガリーの思い出

どこの家庭もみんな親切
食事はいつも庭やテラスで

松戸南L・C 中山和也



この夏、僕はYEに参加させてもらい、ハンガリーでホームステイすることになった。

そこで生活は、初めて日本を出る僕にとって、新鮮で、人生観を変えるほど充実したものだった。

僕は、三つの家庭にお世話になったが、どの家庭もとても親切で、暖かく迎えてもらった。毎日のように出掛け、色々な所へ行き友人も出来、日本では経験することのできない、新しい体験ばかりだった。心配していた食事や会話も問題なかったが、ハンガリーでの公用語は、もちろんハンガリー語なので、さっぱり解らず、周りの人が真剣に強い口調で話をしていると自分の事でなにか揉めているのかと、心配になったりした。さらに、やはり自分の英語の表現力が足らず、100%気持ちを伝える事が出来なかった。そして日常の生活で驚いた事は、朝食も昼食も夕食も、とにかく食事は部屋を出て、庭又はテラスなどで食べるという事だ。もちろんどの家庭も広い庭があり、日本では考えられない事だ。

この食事が、家族のコミュニケーションの大切な時間の一つになっていた。とてもすばらしい時間だと感じた。他にもここでは書ききれぬほどの体験が出来た。

そして、この体験で何点か気がついた事がある。

ハンガリーを歩いて、薄汚れた街並みも魅力を放つと知った。しかしそれは海岸特有のものではないという事。慌ただしく感じる日本の生活では、歩くという事がなくなってきた。ゆとりを感じるハンガリーの生活を過ごして、小さい頃、町を歩いていると新鮮な場面を発見する事が出来たりする事を、思い出した。どうも、この歩くという事がいいようだ。歩く速さで町を見つめると、身近なところでも魅力がしっかりと見えてくると感じた。

また、終始日本人一人きりの生活で、自分を見つめることも出来た。日本での自分を取りまく環境を再確

認でき、解放感と孤独と異国文化の中で深く自分を知る事が出来たと思う。

新鮮な気持ちで見聞することの気持ち良さなど、YEに参加して、得たものすべてを、世界を視野に入れ、飛躍して行きたいと望む今後の自分の生き方の参考にしたいと思う。

最後に、このすばらしい体験をさせていただいたホストファミリー、お世話になったYE関係者、推薦していただいた松戸南L・Cに感謝します。ありがとうございました。

オーストラリアの思い出

ホストマザー

車を止めてゴミ拾い

船橋ポートL・C 林 一輝

7月20から8月28日まで、YE派遣生としてオーストラリアへ行ってまいりました。

オーストラリアは、日本の約20倍の土地で、人口は約8千万人です。広大な広さに感動しました。

ファーストファミリーは、ベンボカという村で、ベガから車で20分くらいの所にあります。その人口は280人と聞いた時驚きましたが、逆に、日本の人口は1億2千万人といったら、向こうの人たちは、もっと驚いた様子でした。ファミリーとは、着いた日から仲よくなり、毎晩ビリヤードをしました。ちょっとハスラーきどりです。

ある日、車で出かけた時、急に止まりました。僕は何故止まるのかと思うと、ホストマザー、パムさんがゴミを拾い上げゴミ箱に、ごく自然に入れ、また走り出しました。日本では僕も含めて、道端に平気でゴミを捨てるが、ここでは落ちているゴミなどを拾い集める行為を見て、自分は感心と同時に、恥ずかしかったです。

サードファミリーでは、ある日、庭のハンモックで寝ていた

時ホスト
マザーデ
ビさんが、
木を植え
ていまし
た。僕が
「何の木を
植えてい
るの？」
と尋ねる
と、「あな
たの木を
植えてい
るのよ、



この木を見て、あなたを思い出すから」と答えました。僕は、とてもうれしかったです。そして、この木が成長して大きくなつた姿を見に又、来たいと思いました。

このようにオーストラリアの、ステイ生活は、見るもの、することはじめてのことばかりで、とまどいながらも、すばらしく、僕の胸のおく深く、一日一日をぎざみこんでいった。

最後に、ライオンズクラブのみなさま、また、その他の関係者の方々にお礼を申したいと思います。

ありがとうございました。

カリフォルニアの思い出

フィリピンの家庭にホームステイ 貴重な習慣・文化を体験

成田平成L・C 藤田 有香

ました。

サクラメントで2件、トランスで1件ホームステイしました。3件ともフィリピンの人でした。

私はここへ来るまで私のホストの人はアメリカ人だと勝手に思っていました。色白に金髪or茶色をして青か茶の目でと。だから正直言えば最初はフィリピン人の家庭でショックでした。差別しているわけではないけれど。だけどもしかしたらしていたのかも。私が日本で過ごしている間一度もTVでフィリピンの人のいい所を見たことも聞いたこともありません。それよりか何度もフィリピン人が罪を犯した事件をTVで見ました。そのせいもあるのか、私は何日間か複雑な気持ちでした。

アメリカに住んでいる人たちは皆、1、2時間かかる所も“近い”と言うのです。その時、私は“ああ、ここはアメリカなんだなあ。”と思いました。カリフォルニアがアメリカの全てではないんだ、と。本当にアメリカは広いです。

だから色々な人種の人や民族の人達がここで暮らしているんだと感じました。そう思った時私は、英語も学べてアメリカの文化や習慣も学べて、その上フィリ

ピン語やフィリピンの文化、習慣も学べてとってもラッキーだしあせだなあとと思いました。実際に私はアメリカ人の家庭にステイした人よりもたくさんの事を得たと思います。どの人も皆温かい人でした。

私はここで色々な人たちに会えて本当に良かったです。

日本の各地から一緒に参加したYE生にも会えて良かったです。色々な人の考えが知れて良かったです。どの人も自分の考えをしっかり持っていて英語も上手で、私は下手なので落ち込みそうに何度もなりましたが、その度に色々な人に助けられました。トランスではカタリナ島という所に2泊3日でYE生だけで行ってきて、そこで又ステイしました。

カタリナ島は本当にきれいな所で星もとてもきれいで私は一晩に2回も流星を見ました。そこではイギリス人の家にホームステイしました。その島には日本人はたった一人しか住んでませんでした。観光客はいるけれど日本人はごくわずかでした。私はこの場所はあまり皆に教えたくありません。すごく素敵な所なので。とにかく私はこの6週間、色々な体験をし、それを通して様々な事を感じ、得ました。それが今後どう生かされていくのかはまだ分かりませんが、きっと色々な場面で生かされると思います。

私には今5つの家族があります。どの家族も私にとってかけがえのないモノです。だからこそ今回の体験がただの高校2年の楽しい思い出として終わりにならないよう頑張りたいです。本当にライオンズの皆様ありがとうございました。



私はこの夏アメリカのカリフォルニア州のサクラメントとL.A近くのトランスに6週間ホームステイしてきました。

まずサクラメントで3週間過ごしました。

私は今回が初めての海外なので見ること、聞くこと、話すこと、することどれをとっても初めてのことだけ大変もあり、とても楽しかったです。

6週間心配していた時差ボケも食事のコトも全く大丈夫で健康に過ごせました。

英語の方はというとこれはかなり大変でした。というのも最初のホームステイ先の人がフィリピン人ので日本人のYE生をとるのが私たちで初めてで、日本語は全く分からず自分の意志を伝えるのは英語とジェスチャーだけでした。フィリピンの人の英語はフィリピンなまりが混じって聞きとるのが難しく更に話すスピードが速く初めの2、3日は本当に大変でした。あと、私たちが話す単語の1つ1つのイントネーションの違いもあり.. いつでも私の横には必ず辞書があり、どうしても伝えられない時は辞書を見せたりして

イリノイ州の思い出

3,800キロのドライブも
異文化での貴重な体験

印西L・C 佐藤 大介

私はイリノイ州の北部、シカゴの西およそ100マイル（160km）に位置するとうもろこしと大豆畑に囲まれたDIXONという街に滞在しました。ホストファミリーは裁判官のパパと専業主婦のママそして11歳の長男と7歳の長女という家族構成で、何度も子供達のパワーに圧倒されそうでしたが毎日楽しく過ごしました。ホストファミリーのみならず向こうの人々は誰もがとてもフレンドリーで、異文化の中で緊張していた私の気持ちをほぐしてくれました。DIXONには人口の小さな街であるにも関わらず、SUNRISE, NOON, EVENING, LIONESS, LEO の5つのライオンズクラブがあり非常に活動は活発でどのクラブの例会も皆私をあたたかく迎えてくれました。滞在期間中に、ライオンズクラブ主催のCAMP LIONという、目もしくは耳の不自由な子供たちがたくさん集まり11日間ボランティアの人たちと一緒に合宿生活をするというプログラムがありました。私も2日間だけホストブラザーと一緒に手伝いとして参加し、耳の不自由な子供たちに日本の折り紙を教えたり一緒にダンスを踊ったりして楽しくまた貴重な体験をすることが出来ました。

滞在期間中DIXON NOON CLUB の会長さんが9日間のバケーションにつれてってくれました。それはアメリカのスケールでの大きさを感じさせるもので、イリノイ州を皮切りにインディアナ、オハイオ、ケンタッキー、テネシー、ノースカロライナ、ジョージア、アラバマ、ミズーリと9つの州をなんと車で旅行しました。走行距離はなんと2,350マイル



およそ3,800キロの超ロングドライブでした。その中でスケールの大きさだけでなく北部と南部の様々な異なる面を見ることが出来ました。

アラバマ州では地域のお年寄りや体の不自由な人に食事を無償で届けるミールサービスに同行しました。届けた先は貧しくまた危険な地域もあり、アメリカの陰の部分を見ることが出来ました。そこで貧富の差がかなりありながらもそれをカバーするボランティアが当たり前のように根付いているアメリカと、貧富の差はあまりないがボランティア活動の未熟な日本どちらがいいのか考えさせられました。

このように今回のYEプログラムでは、単なる旅行では絶対に体験することの出来ない、現地の人々の暮らしの奥の奥まで経験することが出来ました。今回の数多くの経験を「すごかった、楽しかった」で済ますのではなく、今後の僕の人生の種として、いつか成長し花を咲かせ、実った果実をまた次につながる人々に伝えられればいいなと思っています。今回のこのすばらしいYE派遣をさせてくださいましたたくさんの人々に本当に感謝致します。ありがとうございました。

ハンガリーの思い出

着いたその日に結婚式へ

銚子中央L・C 岡田 早代

私は、8月2日から、25日までハンガリーに行ってきました。成田を10時に出発し、フランクフルトまで11時間50分、乗り換えてブダペストまで1時間半かかり、午後6時に空港に着きホストファミリーの方々に会いました。

日本とは時差が7時間あるので、日本は、午前11時、その後第一ホストの知人の結婚式だったので空港から直接向かいました。式は午後1時から翌朝4時まで屋外で行われ、一晩中歌ったりおどったりして2人を祝福しました。すごく楽しくて、ステキな思い出ができました。

次の日から、教会、美術館、城跡、ほら穴と毎日のように色々な所に行きました。6日目には、テレビ局の人にインタビューを受けたりもしました。日本とハンガリーとの違いや、日本の遊び、ライオンズクラブの活動などを話したり、ハンガリーの歌と日本の歌を2曲歌いました。少し緊張しましたが、とても楽しかったです。

2週目はシクソーカラブダペストの第2ホスト家庭にうつりました。ブダペストでは、ドナウ川を舟で渡ったり、屋外コンサートに行ったり、国会議事堂やオペラハウスを見学したりしました。町なみは昔の建物をそのまま使っている建物が多く、歴史をすごく感じました。

3週目は第2家庭と一緒にシオフォックに向かいました。もちろんバラトン湖で泳いだけれど、一番の思い出は民間の飛行機でバラトン湖上空を旋回しました。すごくゆれて、少し恐かったケド、窓から見下ろす街並はとてもキレイでした。2家庭とも本当に良いホストファミリーに出会えたと思います。ホストファザー、マザーとも英語は話せないケド、単語をならべて一生懸命話してくれたのがすごくう



れしかったです。

3週間すごしてきて、ハンガリーの人々は、人に對してすごく思いやりがあるなあと思いました。そして、コミュニケーションをすごく大切にしていました。みんなすごく明るくて、たくさん話してくれておもしろい人達ばかりでした。

3週間はあっという間にすぎてしまいましたが、日本ではできないすばらしい経験をして、たくさんの友達を作るといった目的は十分に果たされたと思います。本当にステキな国で、一生に一度は行く価値のある国です。

最後に、このようなすばらしい機会をあたえてくれ、貴重な体験をさせて下さったライオンズクラブのみな様に深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

マレーシアの思い出

素晴らしい日々

習志野中央L・C 日向 れい

私はマレーシアのクアラルンプールに3週間、2つの家に滞在しました。最初の家には4日間ほどいました。2番目のホストファミリーの家には4人子供がいて、とてもぎやかでした。

マレーシアに着いてからの一週間は、見るもの全でがめずらしく、食事に行っても出てくる料理が不思議でHost brotherにいろいろ「これは何だ。」としつこく

質問していました。夜はほとんど屋台などで食べました。マレーシアの料理はココナッツのジュースでお米をたいたものがあります。またお米はパサパサしています。最初に食べた時は、驚きましたが、今では、とてもなつかしい味です。

滞在中は、19歳のhost brother, Jasonの学校や16歳のhost sister, Ireneの学校に毎日通いました。Jasonの学校では、大学に入るための勉強をしています。クラスの人達は、とても日本に興味がある様で、何人もの人に、「日本とマレーシアの違いは何か」などたくさん質問されました。

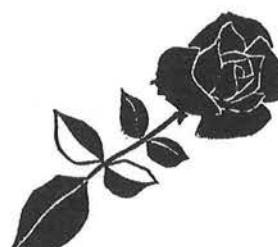
Ireneの学校では、中国語の時間に先生に日本語をすこしおしえてほしいといわれ、前に出て3つの言葉をおしえました。その時に、クラスの人全員がノートにうつして、一生懸命リピートしてくれました。そして、終った後全員日本語で「ありがとう。」と言ってくれた時は、とてもうれしかったです。

最後の週末には、host brotherが、クアラルンプールからバスで8時間もかかる所にある海に泊まりがけでつれて行ってくれました。日本人私を含め4人とhost brotherの友達4人、計8人で行きました。そこでの海の



きれいなことといったら、言葉にできないほどです。白い砂、青い海、ヤシの木、たくさんの熱帯魚、いろいろな色、形をしたサンゴ。本当に感動しました。当分は日本の海に行けないと思います。

21日間は、あっという間に過ぎてしまいました。別れる時はつらくて涙が止まりませんでした。たくさんの素晴らしい思い出を作ってくれたHost famisy、マレーシアで出来た友達、また今回派遣の機会を与えて下さったLions Clubの方々に深く感謝しています。どうもありがとうございました。



カナダの思い出

楽しかったキャンプ生活

ビックリ！お父さんが家事仕事

印西L・C 鈴木 裕美

7月11日の朝家を出発し羽田空港から関西国際空港へそしてデトロイト空港からトロント空港へ約15時間の飛行を終えカナダに無事到着しました。私は特に飛行機へ乗ることが初めてだったのでこの15時間の長旅はとてもきつかったです。たぶん一緒に行ったメンバーの中で一睡もしなかったのは私だけでしょう。そして不安よりも大きな期待を抱えて空港へ着きました。



ついにまちにまたがったホストファミリーとのご対面と思いつきや想像していたウェルカムプレートはなくその地域で一番偉いライオンズクラブの人が出迎えてくれました。そしてそのまま全員でその人の車に乗りホスト家庭へ連れて行ってもらいました。

これで本当に家族の人に会えるんだという思いと同時にここで日本のメンバーとはお別れでもう英語だけの世界なんだと考えると急に不安が大きくなつたのを覚えています。家族に会つた時は頭の中で何度も何度も繰り返した会話が真っ白になって何をしゃべっていたのかよく覚えていません。

そしてすぐ13日からオンタリオキャンプに参加しました。

そのキャンプにはカナダ、フィンランド、イスラエル、イタリア、スイス、ノルウェーそして日本の6カ国24人が参加しました。

スタッフは全員カナダの人で英語を話せるのは当たり前のことだけれど、その他の日本をぬかした4国は英語圏じゃないのに英語がペラペラではほとんど話せない私達はものすごいショックを受けました。誰もが言うことですら、もっと勉強しておけばよかったと身にしみてわかるキャンプでした。でも私はこのキャンプに参加できて本当によかったです。きっとホスト家庭でのんびり生活していたら全体に気づかなかつた思いだと思うから。話題に入れないので、会話にのれないそれがどんなに苦しくてさびしいことか、これが私に勉強

しようという思いをおこさせた一番の理由でした。

そして一週間のキャンプも終わり家に帰ってきました。私が本当にびっくりしたことはお父さんがほとんどの家事をしていたことで、日本では考えられない光景でした。それと同じぐらい娘も手伝いをしていて家族みんなでお母さんを手伝い家族がとてもまとまってみました。

夕食に人を呼ぶのはごく普通のことでいつもたくさんの人と楽しい食事をしていました。一回だけ結婚式へ招待され行きました。結婚式と聞いて私はすぐ教会をイメージしました。準備をするから手伝いに行くと聞かれよろこんでついて行くと、そこは普通の家で何かテントのようなものが建てられていてその中にはテーブルや舞台が設置されていました。何から何まで全て手作りでとってもかわいいものでした。バルーンがいたる所に飾りつけられすごくやさしい感じを受け、こういう結婚式もいいなと思いました。

私は約7週間という長い期間でしたが、本当に毎日が楽しくて短かく感じられました。今年の夏は私の中で忘れる事のできない夏になると思います。貴重な経験をあたえてくれたライオンズクラブの方と両親に心から感謝したいと思います。

ウエストバージニアの思い出

ホストのお父さんと

ジェット機操縦の体験

柏なの花L・C 浜田 忠剛

僕は今回初めてホームステイという経験をしました。始めは環境のちがう所へ一人で行くのはとても不安でした。それに僕はあまり英語が話せないので言葉が通じるか心配でした。出発の日、空港まで行く前は、まだ実感がわきませんでした。でもいざ空港へ着いてみると何だかとてもドキドキして緊張してきました。そして飛行機に乗っている時、年上の友達ができて、僕は友達に日本を離れる不安とこれからの環境の違うところでうまく生活していくかなど色々相談にのつてもらいました。最初は友達もいなくて心細かったけど不安を話せる友達ができる何か安心しました。約一四時間飛行機にのってやっとホームステイ先のウエストバージニアに着きました。家の人が迎えにきてくれて約一時間くらいでホスト先の家につきました。その日はもうおそかったのでおじさんとおばさんだけと顔を合わせました。子供たちは4人兄弟でみんな僕より年下で小さい子ばかりでした。僕には弟や妹がないので始めはどう対応していいかとまどつてしましました。でもホスト先の七歳と八歳の男の子がサッカー好きで僕もサッカーは大好きだったので一緒に庭でサッカーをして遊びました。子供たちとは毎日庭でサッカ



一をしたり部屋でゲームをしたりして遊んでいました。あとはホストマザーの友達が自営業でやってる小さな空港を持っていてそこで四人乗り小型ジェット機に乗せてもらいました。そして飛行中に少し操縦させてもらいました。そこで上から見たウエストバージニアは日本では見られないような大きな森林がずっと続いている驚いたと同時にとても感動しました。ジェット機に乗り操縦をさせてもらったり上から見たけしきはめったにできない経験です。そんな経験をすることができて僕はとても幸せでした。そのほかにも買い物に出掛けた時など町が日本のフンイキとは全然ちがくて圧倒されました。例えばスーパーがとても大きかったり、ガソリンスタンドでも定員が居なくて自分でガソリンを入れたりします。ホスト先の裏庭では野生の鹿やリスが見られました。日本ではそんな光景はみられません。全ての面で日本とアメリカの違いがハッキリと感じられました。最初はあまりホームステイなど気がむかなかつたけど帰ってきてからは本当にいい経験をする事が出来たと思いました。

最後に僕を心あたたかく迎えてくださったホストファミリーのタ・ゴスカイさんと、僕にこのような経験をさせてくださったライオンズクラブの皆様に、心から感謝します。

本当にありがとうございました。

ジョージア州の思い出

第二ホストは独身のおじいさん

愉快な地区ガバナーでした

君津L・C 大澤 大

僕はジョージア州のゼフロンシティーとジャスパーの2つの家庭にお世話になってきました。ロレッタ・スノードンというおばあさんビル・タナーという独身のおじいさん、とそれぞれ4週間、2週間というホームステイの内容でした。

第一ホームステイでは、おじいさんは、修理工場を営んでいてごく平凡な家庭でした。孫や友人も多く皆親切な人でした。あと、自分の他に3人のYEL生と一緒に生活しました。

つまり、18歳のベルギー人（男）、16歳の双子の日本人（女）、彼女らは福岡出身の高校生です。こう書くのも、あれですが、彼女らは特に妹の方は、英語より日本語の方を多く話していました。

アメリカの生活が慣れるにつれて、英会話の方も少しずつ上達してきたのがわかりました。ベルギー人の彼は英語がとても上手く、彼から英語をはじめ、いろんな事を学ばせてもらいました。だいたい最初の4週間はロレッタ・スノードンというおばあさんが中心になって、いろんな世話をしてくれました。あとはこのスノードン家、タナー家もそうですが、過去に日本人の受入をしていて、日本の事をよく知っていました。

ホストファミリーやベルギー人の彼に日本語を教えてあげたりもしました。ところで、アメリカに来ているヨーロッパのYEL生は多く、ミーティングなどで集まった時には、フィンランド、ノルウェー、ドイツ人など実にいろんな国の人達がいました。小さな事ですが僕は洋楽をよく聴くので、彼らの国のミュージシャンの名前などを言うと大変喜んでいました。

第2ホストは、アパート暮らしの独身のおじいさんでした。

こう書くと何か暗い印象を持つでしょうが、実際は、ライオンズクラブジャスパー・シティ、小規模なクラブのガバナーをやっていた。糖尿病で義足の方ですが、その分積極的にライオンズに取り組んでいて、前向きに生活しているという言葉以外に表せないほど前向きに生きていた。しかもこのビル・タナーというおじいさんは、すごく愉快な人で、自分が英語を上手くは話せないというのが理由で何度も、トラブルもありました。しかしいまとなってはいい思い出です。第2ホストファミリー先では、とくに、どこかという名所に連れて行ってもらったりとかはなかったです。

ノース・カロライナの方に少し行っただけで、後は、掃除の手伝いをよくやりました。結論から言うと、本当に漠然としていましたがただ心底いい経験になったと思います。この機会を与えてくれた人達みなに感謝の念を表します。



デンマークの思い出

ホームステイで折り紙づくり

習志野L・C 橋本ちひろ



私は7/18~8/29にデンマークへ派遣されました。7/19~8/2までは、キャンプに参加しました。そこでは、19の国々から集まった総勢31名の人達と共同生活をしました。

キャンプからステイ先に移りました。ホストファミリーは、ノンライオンで、お父さんは5年前に亡くなられて、お母さんと娘さんが3人と息子さんが1人の家族です。しかし、1番上の娘さんと息子さんは家と一緒に住んでいなくて、2番目の娘さんは、普段は大学寮に住んでいるので、普通はお母さんと16才の娘さんと2人で暮らしています。大学生の娘さんは、私達がお世話になった時夏休みだったので一緒に住んでいました。私がホストファミリーの家に来た次の日、16才の娘さんはオーストラリアから帰国しました。彼女も私と同様にライオンズのYE生として行っていました。やはり、オーストラリアでのホームステイは楽しかったそうです。その娘さんも英語をとても上手に話します。

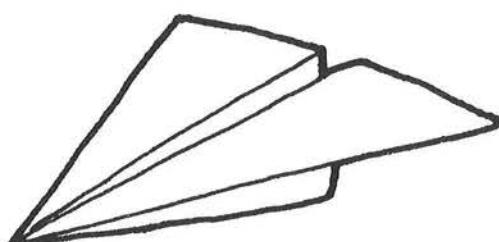
私のホームステイ先での毎日は、午前中はお母さんは仕事、大学生の娘さんも仕事、16才の娘さんは高校生なので学校（デンマークの学校は8月に始まる）だったので1人でした。もう1人の日本人の方は1週間別の家にステイしていました。朝・昼ごはんは自分で好きなものを作って食べてよいと言われていました。何もすることのない時は宿題をしたり、片づけをしたりしていたのでそんなに退くつはしませんでした。外出もしていいと言われていたので、自転車で近所を散歩することもありました。午後になると、皆さん帰宅し、それからは一緒に話したり、ゲームをしたり、折

り紙もしました。私は千羽づるを小さくしたのを作つておみやげとしました。気に入ってくれて、つるの作り方を教えてほしいとのまれました。驚いたことに、その家の日本語で書かれた折り紙の本と折り紙が少しありました。折り紙はずっと前に日本から取り寄せたそうです。特に大学生の娘さんが折り紙を気に入つて、1日に何作品も作っていました。おかげで、私が持つて行った折り紙はほとんど最後にはありませんでした。

お母さんの作る食事はとてもおいしくて、毎日夕食が楽しみでした。毎日といつも、食卓の上にはしょう油がありました。おじいさんが大好きで何にでもかけて食べるそうです。でも、私にはその必要は全くありませんでした。後片づけは、お母さんを除いてみんなでしました。その時は、娘さんがおもしろいことを話してくれるので、私は笑いっぱなしでした。本当に楽しく、明るい人達なのです。それだから、私は

たくさん話したく、たくさん聞いていたので、英語は最初よりも大分、うまくなりました。また、英語で困ることも無くなりました。私の話す英語は単語の羅列にしかすぎませんでしたが、ちゃんと理解してもらいました。話すことはもちろん大事ですが、それ以上に聞く力も大切です。そして何よりも早くその家庭になじむことが最もだと思います。

長いと思っていた4週間のホームステイもあっという間に終わり、お別れをしました。本当に良い人達で別れるのがつらかったです。でも、またいつか会いに行きたいと思います。このようなすばらしい夏を過ごすことができたのも、ライオンズの皆様のお陰です。最後になりましたが、厚く御礼申し上げます。



ミシガン州の思い出

宗教の熱心さに驚く

成東L・C 小川愛佳



私は、7月16日から8月29日までの44日間アメリカのミシガン州、シダースプリングスという町にホームステイしました。

ミシガンは自然がとても多く私のステイした家の周りには白樺の木がたくさんあり、リスやきつね、鹿、ふくろう、こうもりなども見かけました。夜になると星がとてもきれいで天の川もはっきり見えました。気温も低く湿度も低くとても過ごしやすかったです。

私のホストファミリーは4人家族でお父さん、お母さん、10歳の男の子と5歳の女の子、それからハンティング用のビーグル犬1匹と番犬のドーベルマン1匹、庭でつかまえたインコが1羽です。インコの名前は私に因んで”アイカ”とつけられました。ホストファミリーはもちろん、知らない人でさえミシガンの人はとても親切でフレンドリーでした。友達もたくさんできて毎日みんなで遊びました。私は英語がうまく話せないけれどその子たちに言葉はフィーリングだということを学び、行く前に比べて英語力は格段に進歩したと思います。しかし英語は思った以上に重要でライオンズクラブのYE生の集まりなどがあっても英語を話せないのは本当に日本人だけで東南アジアや南米などあまり物質的に豊かでない国の人でさえペラペラでした。また中国のように母国語が英語でない国の人ももちろん話せます。日本人はなぜ教育を受けているにもかかわらず英語が話せないのか不思議に思いました。

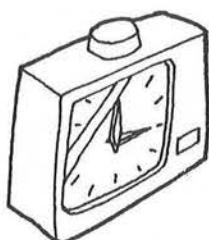
私のホストファザーは朝7:00に仕事に出かけ夕方4:00に家に帰ってきます。それからディナーを食べて、

夕方6:00くらいに買い物に出かけたりします。アメリカは夜9:00頃まで明るいのでそれが当たり前のですが、最初私は6:00過ぎに出かけるのにとても驚きました。どこかに出かけても何かと主導権をにぎっているのが父親で家計簿なども父親がつけています。子供がケガしたときなど世話をするのも父親です。日本では家事や子供の世話をなどほとんどの事を母親がこなすと話したらとても驚いていました。

アメリカで驚いた事と言えば宗教のことです。アメリカの大部分の人がクリスチヤン（キリスト教信者）ということは前から知っていましたが、これほど熱心に信仰しているとは知らず少し恐くなりました。食事の前は必ずお祈りをしてからいただき、週末になると知人の家や教会に集まって”BIBLE STUDY”をします。”BIBLE”というのは”HOLY BIBLE”のことで”HOLY BIBLE”は聖書のことです。聖書の一節を読み、みんなで

ディスカッション、そして聖歌を何曲もうたいます。私も参加させられ、その度にクリスチヤンになれと勧誘されました。最後には勝手にクリスチヤンにさせられました。私はヤダと言ってるのに強引で少しというか、すごく腹が立ちました。ホストファミリーは私がクリスチヤンになったと思っているようで、私が帰るときのプレゼントは分厚い聖書でした。

アメリカの人は自分の意見をしつかりもつていて他人にわからせようと相手が拒んでも無理に押しつける所があります。それはそれでいいのですが、相手の考えも少し認めたほうがいいと思いました。私が今回ホームステイで学んだ事は、計り知れません。私のこれから的人生の中で大いに役立つと思います。もし機会があればまたどこかの国にホームステイしたいと思います。その時はもっと英語を勉強しておきたいです。



'97

YE' L10NS YOUTH EXCHANGE

思い出のアルバム



松戸中央LC 張ヶ谷 俊一（20歳）
カリフォルニア



柏中央LC 鈴木 敦子（21歳）
ポーランド



松戸中央LC 宮越 隆志（17歳）
イギリス



柏中央LC 池田 美智子（16歳）
ミズーリー



流山LC 海老名 香織（16歳）
マレーシア



柏グリーンLC リム マリア（21歳）
マレーシア

'97

YE' L10 NS YOUTH EXCHANGE

思い出のアルバム



柏グリーンLC 田中 里実（19歳）
マレーシア



船橋LC 牛山 玲名（16歳）
マレーシア



柏の花LC 平井 紗子（18歳）
マレーシア



船橋ポートLC 高橋 真由（16歳）
オーストラリア



船橋LC 高松 智（20歳）
ポーランド



船橋東LC 河西 牧子（19歳）
エドモントン

'97

YE' L10NS YOUTH EXCHANGE

思い出のアルバム



船橋北LC 山内 尚 (19歳)
スイス



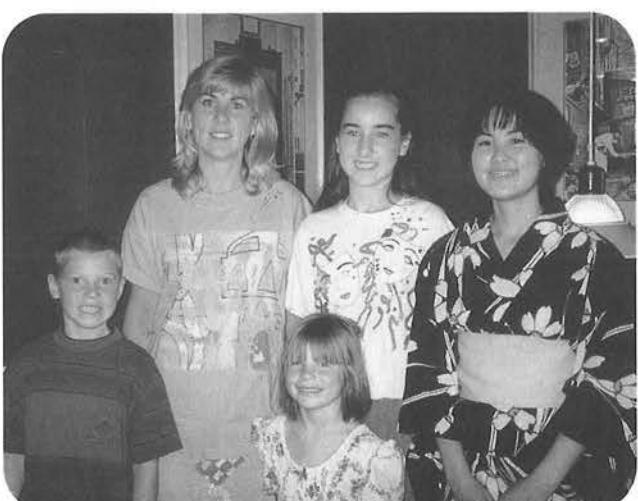
成田平成LC 林田 千春 (16歳)
オーストラリア



千葉グリーンLC 住安 佳奈子 (16歳)
アラスカ



成田平成LC 萩原 江妃子 (16歳)
カリフォルニア



成田平成LC 越崎 佳美 (16歳)
カリフォルニア



富里LC 原 真奈美 (16歳)
ウィスコンシン

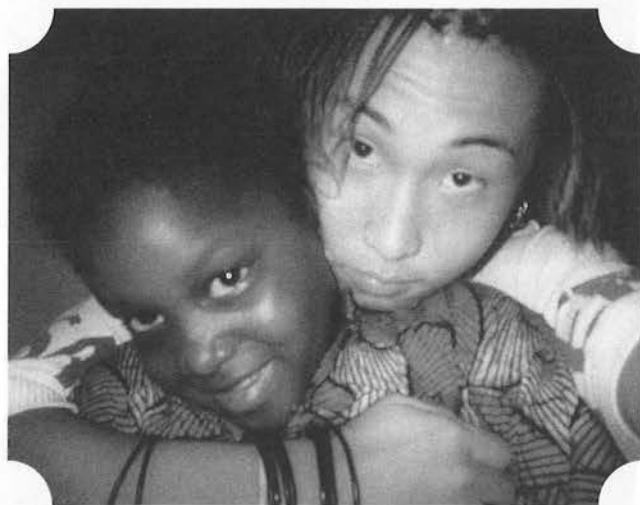
'97

YE' L10 NS YOUTH EXCHANGE

思い出のアルバム



銚子中央LC 大川 武輝（16歳）
オーストラリア



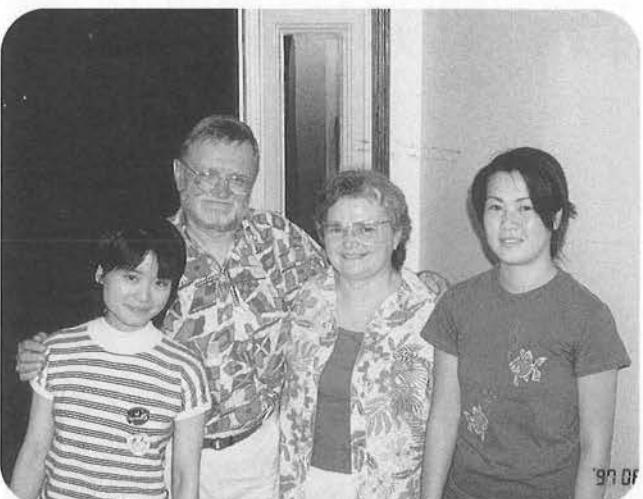
上総LC 大野 暢也（17歳）
フランス



八日市場LC 大塚 宏美（20歳）
フロリダ



館山北LC 佐々木 義将（22歳）
イリノイ州



袖ヶ浦LC 多田 真奈美（17歳）
MD 19



房総勝浦LC 小高 裕子（17歳）
ニュージーランド

4R1Z

333-C地区にはじめて

船橋シニアライオンズクラブ誕生 =全員がアイバンクへ献眼登録=

333C地区にはじめてのシニアライオンズクラブが誕生しました。9月7日(日) ホテルサンガーデンららぽーとで、船橋ポートライオンズクラブのスポンサーによってチャーターナイトが開かれ、ライオンズ国際協会より認証伝達状が授与され、正式にライオンズの仲間入りを達しました。会員は28名で全会員の年齢は60才以上です。

記念すべき事業はクラブ員全員が、入会と同時にアイバンクへの献眼登録をしたことあります。会員の皆様の勇気と決断は画期的なアクティビティでありその快挙に感謝いたします。



5R1Z

千葉ネオライオンズクラブ結成式 =若いエネルギーで社会奉仕に=

私たちもネオライオンズクラブは千葉ライオンズクラブのスポンサーの下L. 浮谷俊行前ガバナー地区EXT委員長L. 小石税、千葉ライオンズクラブ地区EXT委員長L. 白井一世にご尽力いただきまして平成9年6月23日にホテルパシフィック千葉に於いて無事結成式を行いました。平均年令35才という若いメンバー構成ですが地域社会とパートナーシップの絆を結び奉仕活動に励む所存でございます。

千葉ライオンズクラブ会長
L. 中村 和央



6R2Z 四街道LC

CN30周年記念式典を開催

四街道ライオンズクラブCN30周年記念祝賀会が10月12日（日）成田ビューホテルで、来賓、ブラザークラブ員など約280名の参加で、盛大に開催された。

式典には来賓として中台四街道市長、井上、岩瀬両参議院議員、岡村県議会議員、柏村四街道市議会議長。ライオンズクラブからはL飯塚一郎ガバナーら多数が出席。恒例のセレモニーのあと会員表彰、記念事業の発表があった。

第二部の祝宴では、四街道市少年少女合唱団が来客を迎えたあと、パップレコード専属の川島一成、美桜かな子らの演歌の熱唱が会場の雰囲気を盛り上げ、最後にラッキーカードで締めくくった。

主な記念事業はつぎのとおり

1. 四街道市内に交通安全タワー
2. 四街道市内福祉作業所にパソコン、ビデオカメラ等
3. 四街道市消防本部に液晶ビデオ映写機一式
4. 千葉県立盲学校にパソコン一式
5. 四街道市内四団体に金一封



8R1Z 木更津金鈴LC

CN30周年記念式典を開催

CN30周年総務委員長 鶴岡 忠男

当クラブは本年度CN30周年を迎え、秋晴れの10月26日紅葉の美しいアカデミアパーク大ホールに於いて、千葉県知事沼田武様、並びに333C地区ガバナーL飯塚一郎をはじめ大勢のご来賓、地区役員、更に遠くの中華民国台灣省より北斗獅子会、そしてブラザークラブ合計481名、更に333A、B、C地区のネスクラブメンバー135名、総数616名のご参加を賜り幹事L若林の司会のもと定刻にはスタートをし、まずはクラブ30年間のあゆみをスライド上映にて振り返り、次には数々のアワードを贈呈しそしてL飯塚ガバナー、沼田千葉県知事、浜田衆議院議員、更に多くのご来客の皆様よりご祝辞と励ましのお言葉を賜り、厳粛の内にも盛大に挙行致しました。

当日は好天にも恵まれ、同会場に於いて333複合地区のネスフォーラムと千葉県主催の「花と緑のフェスティバルイン木更津97」の行事も重なり、会場は大変なにぎわいでありました。

式典の席上記念事業として木更津社会福祉協議会に金一封、木更津交通安全協会交通遺児母子家庭への助成金、木更津警察署警察官友の会へ警察官助成金、8R青少年健全育成基金一封を贈呈致しました。

又、木更津警察署には交通事故防止標語大看板、社会福祉作業所あけぼの園、並びに社会福祉法人野の花の家両施設に乗用ワゴン車（8人乗り）をそれぞれ一台づつと、花と緑のフェスティバルイン木更津の参加者に花卉2000鉢を贈呈致しました。



1R1Z 市川東LC
第3回市川リバーサイド
健康マラソン大会開催

早朝から、あいにくの雨に見舞われましたが心配の予想もはね返し大会会場には、定刻前から続々と詰め掛ける参加ランナーの姿に安堵の胸を撫で下ろしました。

天候は不順でしたが、健康マラソンに相応しく最高年齢82才を筆頭に北は北海道札幌、南は九州大分、から1100名（登録1500名）の参加をいただきました。

パンツまで泥を跳ね上げ全身ずぶ濡れになりながら、全員完走の快挙で無事成功裡にゴールを閉じることができました。

優勝市川市長杯に続き女子の部優勝者に、地区ガバナーL. 飯塚一郎賞カップがおくられました。又遠来者賞10名、高齢者賞72才から82才まで11名の方に記念品がおくれられ、来年第4回の再会を誓い盛会の中に閉会することが出来ました。

地区キャビネットを始め、市川市また関係各位の絶



大なるご支援ご協力に感謝申し上げます。

第3回市川リバーサイド健康マラソン実行委員会

2R1Z 松戸LC

花火大会のゴミ拾い

平成9年8月3日（日）早朝6:00、前夜の花火大会の大盛況を伝えるかの様なゴミの山を、松戸ライオンズメンバー22名が、2時間余りをかけて大掃除。

平素の運動不足を解消するかの様にさわやかな汗にまみれた一時であった。

幹事 大橋 誠一



4R1Z 船橋LC

船橋養護学校へグローブを贈る

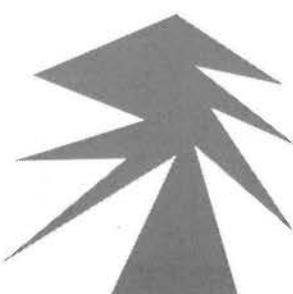
平成9年7月6日、船橋金堀町の市立船橋養護学校の夏祭りに招かれました。その際、先日よりお願ひされておりましたソフトボールチームに、やぐらの上で当クラブの迷選手から、学校代表の名選手へグローブ等を贈呈いたしました。

社会福祉委員長 L. 池田 英男



船橋市農水産祭に参加

11月3日（月・祝日）に開催された「船橋市農水産祭り」に今年も参加し、収益金はクラブの活用資金に活用しました。



5R1Z 千葉中央LC

障害者施設へ柿の木3本植樹

10月8日、ライオンズデー当日、会員22名が集まって千葉市精神障害者施設「エルビザの里」[理事長桑田昭（当クラブ会員）]へ柿の木3本を植樹した。富有柿、次郎柿、甘柿は来秋から実をつける予定で、同園の秋の味覚として園児たちの喜びと期待の声が聞えている。



5R2Z 千葉エコールC

青少年育成のためサッカー優勝旗を贈る

千葉エコーライオンズクラブの今年度主要活動目標である「次代を担う青少年の育成」と美浜区少年サッカー協会の目的が共通であることから、当クラブでは今年度同協会が主催する平成9年秋季美浜区少年サッカー大会のAクラスの優勝チームに優勝旗を贈ることを手始めに積極的に後援することになった。



5R2Z 千葉ゆうきのLC

まごころの献血で救おう！

大切なのち

私どものクラブは、クラブ結成2年目にあたり奉仕活動もようやく軌道に乗ってまいりました。特に献血アクトは、他クラブの応援なしで、自力での実施で多少の不安もありましたが、10月31日（金）午前10時から午後4時まで、千葉中央公園とBee-oneで行われました。

午前中は雨上がりの曇り空、午後やっと陽がさしたもののが吹くという決してよい条件の天候ではありませんでした。しかし、クラブ員は、“頑張ろう”の合い言葉で一生懸命努力しました。



5R3Z 市原東LC

献血運動の推進に向けて

千葉県は献血者÷人口で比率を計算すると献血率が全国最下位と言う恥しい状況の様です。したがって当クラブでは献血の思想普及を目覚し献血の増加に向かってクラブ一丸となって努力致します。



6 R 1 Z 酒々井LC

労力 A C T 1997.9.7
カーブミラー清掃

**酒々井全域406枚の
カーブミラーを清掃しました。**

酒々井ライオンズクラブ6 R 1 Zは、1997年9月7日酒々井町内全域406機のカーブミラーの清掃をすべて終了いたしました。

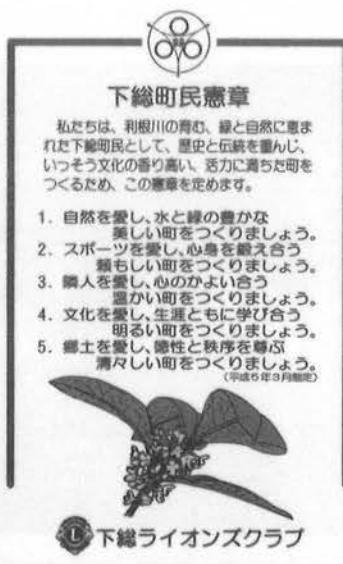
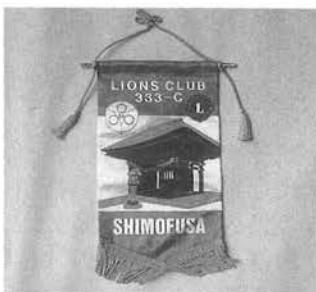


6 R 1 Z 下総LC

**1995年度
国際バナーコンテストで2位**

1995年度国際バナーコンテストに於いて我がクラブのバナーが2位に選ばれました。

当クラブでは日頃町民憲章に協力し、来年2月には創立5周年を迎えるに当たりクラブ会員は全力を尽くして目標に向かっています。



6 R 2 Z 佐倉ライオンズクラブ

① 広田龍男L 88歳米寿の祝い

広田L（チャーチメンバ）は、在籍31年、常に社会奉仕の精神を心掛け、現在に至りました日頃の功績を称え、11月9日の例会に於いて、会員一同米寿のお祝いを挙行しました。

どうぞ、これからもお元気で！



② 献血活動

(9.9.20)



③ カーブミラーと立看板のクリーン作戦



④ 青少年健全育成の一環として

佐倉ライオンズクラブでは、毎年小学生で組織する野球チームを対象にライオンズ旗杯争奪戦を行っています。本年も25チームの参加を得て熱戦をあげ10月16日に根郷少年野球チームが優勝し、幕を閉じた。



⑤ 会員の持ち寄りでチャリティバザー

一時間で完売、事業資金へ。

(9.11.8)



'97

クラブの奉仕活動

クラブの友愛

7R3Z 山田町LC
PR情報委員長になって

L 菅谷 泰輔

本年1997年～1998年のPR情報委員長を依頼されお引き受けして4ヶ月になりました。ライオンズクラブ会員として日々も浅く役職としてライオンズテーマー、会計、幹事そして財務委員長を経験しましたが、PRはクラブ

から部外に向けて大いに宣伝してライオンズクラブの新入会員の増強に努力したいと思います。

ガバナー運動方針を表現するスローガン「拡げようゆたかな知性でまごころ奉仕」この方針に従い当クラブは下記のような活動をして参りました。

会長スローガンいたわりをもった協力とまごころ奉仕により会員間の友情、親善、相互理解を大切にしかも退会防止に努めます。行事計画として会報37号の発行、農村広場等のアクト奉仕草刈り8月22日には納涼同伴例会を開催しRC例会訪問と併わせて行いました。9月15日には山田町公民館に於いて町民80才以上



↑10月12日ライオンズディーに空き缶、空き瓶をAM 8:00t o12時まで奉仕作業をしたライオンズメンバーです。軽四輪車、4台満載でした。

の老人と結婚50年夫婦のカップル56組を招待して演芸プログラム21演題を披露しました。ライオンズクラブで13出演し他は婦人会と合同で接待して大きなPRになり好評でした。

地域社会と共に歩むライオンズを目指す広報活動は、どう活動しているかが周知してこそ理解と協力が得られるでしょう。



←9月15日山田町敬老祝賀式典に接待と演芸を披露したライオンズメンバーとレディースの記念写真です。

7R3Z 旭LC
楽しかった合同例会

L 仲村 敏治

10月15日開催した同伴例会について、当日はレディースを含め92名が出席し、盛大な会合となりました。恒例の、前三役への感謝状と記念品の贈呈。また奥様へは花束をプレゼントし、その労をねぎらいました。

引き続き懇親に移り、レディースの日頃のご支援に深く感謝する一時を過ごしました。

メンバーによるかくし芸の披露やゲームタイムと、バラエティーに富んだ企画の中でも、この日のメインは、歌手の葵ひろ子さんによるショータイムでした。

館林中央LCの25周年に招待された時に彼女のコンサートがあり、大変素晴らしかったので、今回レディースの皆さんにもお楽しみいただこうと、お招きした次第。美人歌手でNHKの経験もあり、民謡、抒情歌、ポップス、演歌とレパートリーが広く、現在サークルを結成し活躍中である。「いつの頃からか私達は、優しさとか思いやりという、他人をいたわる心の原点を見失っているのではないですか」と歌の合間に語りかける葵さんのステージは大好評で（100万本のバラ）という歌を歌いながら、各テーブルを回りレディースにバラの花を一本づつ手渡していただいて、最高潮の感激と盛況のうちに、楽しい同伴例会を終了しました。

8 R 2 Z

君津 L C

きれいな町づくりに協賛

■合同でフリーマーケットに参加■

9月21日君津市主催、クリーンシティフォーラムin君津97."関心をもって!興味をもって!きれいなまちをつくりましょう"をスローガンに昨年に引き続き、「自然と人間の共生」の基本理念のもとに君津市民文化ホールに於て開催されました。君津市では10月1日から、「君津市まちをきれいにする条例」(通称ポイ捨て禁止条例)が施行されます。

当日会場に於て君津ライオンズクラブ主催のフリーマーケットに50以上の出店協賛を頂き、L C、L S C、L E O合同コーナーに於てバザーと焼そばの販売をしました。また10月19日地域を上げてのクリーン運動のPRと、L C、L S Cとはどんな会なのかを来場者の方々に認識して頂けるよう、毎月出版しているTHE LION きみつを配布いたしました。

好天に恵まれ出足も良く、10時から5時まで、順調に売れ、メンバーは大変忙しい一日でした。



8 R 2 Z 君津ライオネスクラブ

駅前清掃やフリーマーケットに参加

10月12日 L S 松本衣子チャリテーコンサート開催



ポイステ運動に協賛



7 R 1 Z 銚子中央レオクラブ

夏にはりきる！銚子中央レオクラブ

会長leo. 砂村 理紗

7月に入りレオクラブも新年度をむかえました。銚子中央レオクラブでは、7月5日銚子保健所の職員の皆さんと、『ダメ・ゼッタイ』麻薬撲滅キャンペーンに中・高校生25名が参加し、銚子市役所前より中央みどり公園までダメ・ゼッタイの大きな旗を持ち行進しました。途中、パンフレットやティッシュペーパーや風船を町行く人々に手渡しながら、麻薬撲滅の啓蒙活動を行いました。

また、7月20日の「海の記念日」には、(社)日本水難救済会のおし勧める『青い羽根募金』を外川漁港で行いました。当日は7R1リジョンシェアマンL磯村さん、P R情報委員L向後さん、スポンサーライオンスクラブ会長のL寺門さん達が応援に駆け付けてくれて、昼までに48,371円の尊い募金が集まりました。

8月には、YE・LEO合同サマーキャンプに銚子から49名が参加しました。夏に羽ばたく銚子中央レオの活躍に乞うご期待！



10R 1 Z 茂原LC 交通安全講習会を開く

青少年健全育成のもとに交通安全教室が9月28日に開催されました。



5 R I Z 千葉幕張メッセLC 幹事 砂川 稔

〈日本網膜色素変性症協力への支援活動として〉

ウイーン少年合唱団チャリティ・コンサートを開催します

1998年3月19日

網膜色素変性症という病気を御存じでしょうか。難病に指定され、全国でおよそ2万人の方が失明する不安の中で闘っています。千葉幕張メッセライオンズクラブでは、この病気に対する理解を深め、また病気に悩む人達を励ますことを目的に、ウイーン少年合唱団チャリティコンサートを3月19日木曜日、千葉文化会館で開催いたします。

ウイーン少年合唱団は、1498年7月7日皇帝マクシミリアン1世の命によって8名で発足して以来、500年の歴史はシューベルトやハイドンなど数々の偉大な音楽家を世に送り出し、その美しさとハーモニーのよくあった歌声は全世界から絶賛されています。

このチャリティコンサートの後援には、外務省・文化庁・オーストリア大使館・テレビ朝日を中心として、千葉県・千葉県教育委員会・(財)千葉県文化振興財団・千葉市・千葉市教育委員会・(財)千葉市文化教育振興財団・bayfmまた学術団体として千葉大学医学部眼科学教室・千葉県眼科医会・特別協賛に千趣会がついております。

また5リジョン各ライオンズクラブにご協力を願いていきたいと考えております。このチャリティの主旨を多くの方々にご理解頂きながらをお貸し頂けることに感謝しております。



入場料は、S席6,000円・A席5,000円・B席4,000円です。利益は全て関係団体に寄付されます。

ウイーン少年合唱団は来年500周年、この機会にぜひ天使の歌声をお楽しみ下さい。コンサートについての詳しく述べは、千葉文化会館 TEL043-222-0201、幕張メッセライオンズクラブTEL043-248-8856までお問い合わせ下さい。

「ライオンズよ、暗闇と闘う盲人の戦士たれ」

1925年 ヘレンケラー

お知らせコーナー

①次号（第3号）の表紙を飾る写真を募集します。

テーマ「東京湾に浮かぶアクアライン」（たて位置）。今回はテーマを限定させていただきます。

〆切 平成10年2月20日必着

送り先 〒260 千葉市中央区問屋町1番55号

ライオンズクラブ国際協会333-C地区PR情報委員会

（採用者には記念品を贈呈いたします。）

②原稿をどしどし送って下さい。

第3号の原稿、写真を送って下さい。クラブ活動、御意見等何でも結構です。

送り先、〆切は上記と同じ。

③第44回地区年次大会登録のご案内

333-C地区第44回年次大会は1998年4月18日（土）～19日（日）に成田市・成田国際文化会館で開催されます。年次大会は主要目標の一年間の成果を確かめ合い、友情と連帯の輪を広げる祭典であります。333-C地区のライオンズの仲間が（成田市・成田国際文化会館に”全員集合”）の呼び掛けをして頂き、賑々しくご参加下さいますよう関係者一同心よりお待ち申し上げます。

クラブ事務局変更のお知らせ

（船橋グリーンLC） 12/8（月）より変更です
〒274

船橋市滝台町107-48
山銀ビル205号
Tel 0474-64-3961・Fax 0474-64-3962

（我孫子LC） 11/26より変更です
〒270-11
我孫子市天王台2丁目17番17号
佐藤様方
Tel 0471-82-7996・Fax 0471-82-7996

（松戸南LC） 12/1より変更です
〒271
松戸市紙敷164-34
Tel 047-383-2396・Fax 047-383-2397

（千葉幕張メッセLC）
〒263
千葉市稲毛区稲毛東2-3-12
パレクレールアイハラ305
Tel 043-248-8856

物故ライオンご芳名

1997.6.1～1997.12.7

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

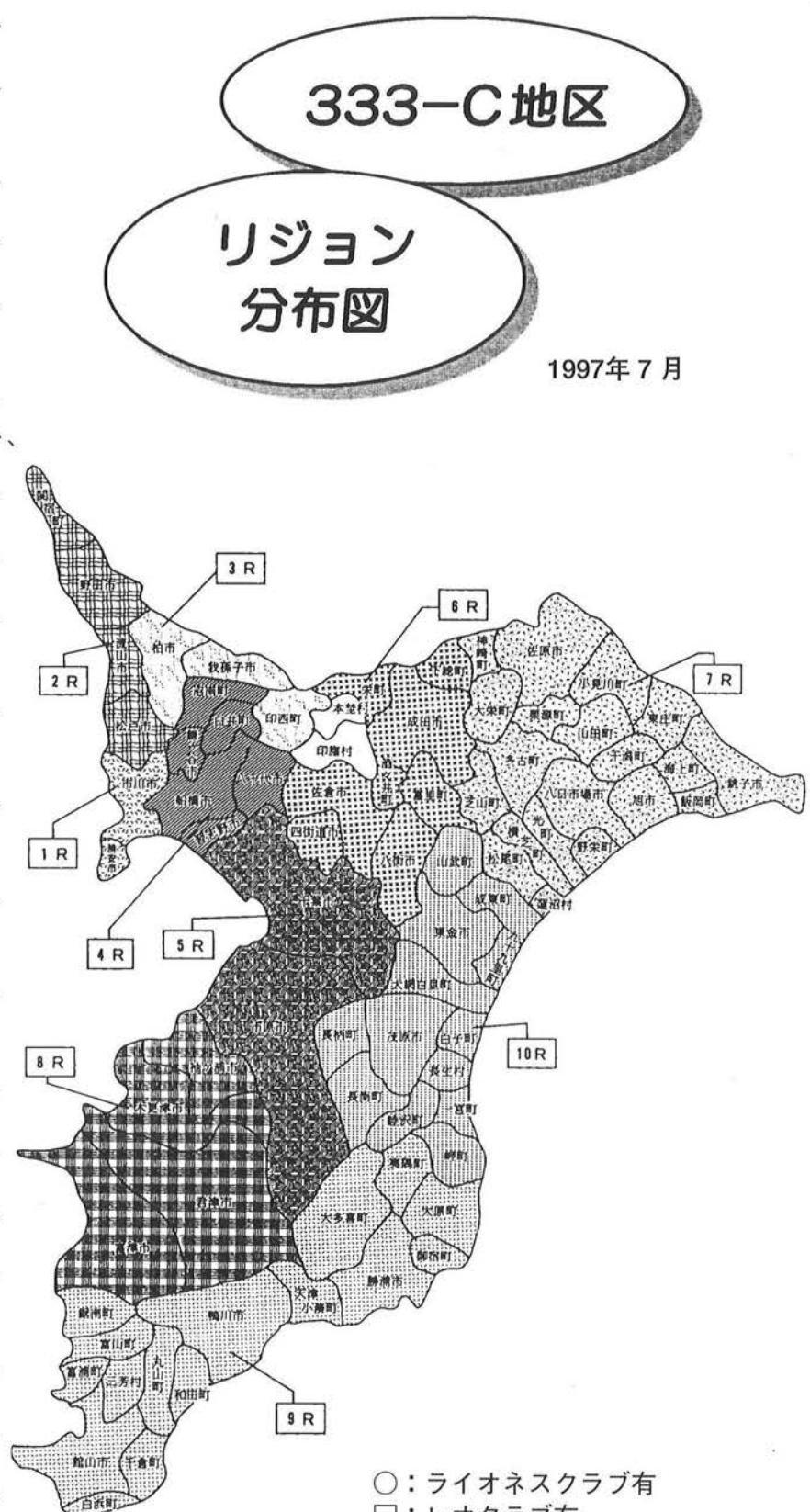
故L 友 次 卓 治（8/30逝去：長柄LC）
故L 三 好 章 夫（9/3逝去：千葉幕張メッセLC）
故L 川 島 健 一（9/16逝去：栄町LC）
故L 勝 股 清（10/17逝去：八日市場LC）
故L 山 内 克 己（10/25逝去：成田LC）
故L 小 池 栄二郎（11/4逝去：千葉LC）
故L 有 田 彪 輔（11/7逝去：成田エアポートLC）
故L 秋 元 德 三（11/24逝去：君津LC）
故L 増 田 郁 夫（12/6逝去：多古LC）
故L 高 山 敬（12/7逝去：市原コスモスLC）

編集後記

投稿の皆さんにお知らせ。

第1号、第2号では多くの原稿、写真を編集部にお送りいただきありがとうございました。紙面の構成上一部掲載できなかったことに対し深くお詫びいたします。なお、原稿はなるべく「だれが、いつ、どこで、何を…」と云うように5W1Hで書いていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

- 1 R-1 Z 市川、市川東□、下総中山、市川北
- 1 R-2 Z 浦安、行徳、浦安シーサイド、浦安中央
- 2 R-1 Z 松戸、松戸中央、松戸ユーカリ、松戸南□
松戸グリーン
- 2 R-2 Z 流山○、松戸東、野田、関宿
- 3 R-1 Z 柏○、我孫子、印西□、柏さくら
- 3 R-2 Z 柏中央、柏グリーン□、柏オーク
柏なのはな
- 4 R-1 Z 船橋、船橋中央○□、鎌ヶ谷、沼南、船橋ポート、
船橋グリーン、船橋ざんか、船橋シニア
- 4 R-2 Z 船橋東、船橋京葉、船橋北、白井
- 4 - 3 習志野、八千代、習志野中央、八千代東□
- 5 R-1 Z 千葉、千葉中央□、千葉幕張メッセ
千葉グリーン
- 5 R-2 Z 千葉エコー、千葉京葉、千葉若潮
千葉ポート、千葉ゆうきの、千葉ネオ
- 5 R-3 市原、市原南○、市原コスモス、市原中央
市原東
- 6 R-1 Z 成田、酒々井、成田グリーン、成田平成
富里下総、栄町、成田エアポート
- 6 R-2 Z 佐倉、四街道、八街、八街グリーン
佐倉中央
- 7 R-1 Z 白子、佐原○、東庄、神崎、銚子中央□
- 7 R-2 Z 八日市場、総武中央○、多古、大栄、栗源、光
- 7 R-3 旭、飯岡、千潟、山田町、海上
- 8 R-1 Z 木更津、木更津中央、袖ヶ浦○
木更津金鈴○
- 8 R-2 Z 富津○□、上総、君津○□、君津中央○
- 9 R-1 Z 館山、鋸南、館山中央、館山北、館山南
- 9 R-2 Z 鴨川、房州白浜、房州朝夷、房総勝浦
夷隅
- 10 R-1 Z 茂原、上総一宮、茂原長生、白子、長南
長柄、茂原中央、茂原たちばな
- 10 R-2 Z 東金、大網白里、九十九里、成東



○: ライオネスクラブ有
□: レオクラブ有

ライオンズクラブ	115
ライオネスクラブ	11
レオクラブ	10



We Serve

抜けようゆたかな知性で まごころ奉仕

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース **せんよう No.2**

発行日 1998年1月5日

発行者 ライオンズクラブ国際協会333-C地区
地区ガバナー L 飯塚一郎

〒260 千葉市中央区問屋町1番55号

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 ◎L 塚田雅二 ○L 萩原義之 ○L 高石 弘
○L 関根陽男 ○L 大嶋 晟 ℗L 原 義明